

／特集／ 平成5年度 ブロック研究会活動報告

北海道ブロック



1. ブロックの運営動向

本年度は役員改選に伴い、別表記載の新委員によって運営されることになった。さらに「庶務」「広報」担当の各委員を会員から募るなど、会運営体制の強化を図った。一方、ブロック研究活動推進のため、ブロック内で組織化を図り「秘書理論」「秘書教育」両研究グループを設け、会員希望も考慮して所属分けした。各々に中核となるプロジェクトチームを編成し、研究活動の活性化を期することにした。なお、組織の拡充も運営目標として掲げた。

2. ブロック研究会活動報告

(1)第16回研究会

期 日：平成5年2月27日(土)

会 場：静修短期大学

司 会：乳井克憲（静修短期大学）

出席者：16名

秘書理論に関し2件の研究発表が行われた。

1 「秘書理論研究の新課題」

阿久津昭夫（静修短期大学）

手戸 直美（日本ビジネススクール札幌校）

佐々木邦子（日本商工会議所附属専門学校）

秘書の業務空間及び情報アクセスのあり方を分析するとともに、次の各点を考察した理論研究である。①秘書職務の特殊性 ②秘書の業務資質 ③理論研究と教育の相互作用

2 「秘書学研究の基本的課題」

浅川 修二（北海道栄養短期大学）

上司と秘書の組織的協働関係をとりあげ、組織目的、上司と秘書の相互機能などから、協働原理を探ろうとする研究で

ある。企業秘書、医療秘書、法律秘書の各フィールドを実証的に考察するユニークな内容であった。

3 研究協議「秘書学研究について考える」

研究発表の後、出席者の自由討論により研究の方向性、進め方などを協議した。

(2)第17回研究会

期 日：平成5年11月27日(土)

会 場：かでの2・7

司 会：渡辺 一郎（静修短期大学）

出席者：18名

最初に白川先生より新年度のブロック役員人事等につき提案があり、承認された。

「秘書と職業」という視点で2件の研究発表があった。

1 「現代企業が秘書に課す条件」

菊池 真一（北海学園北見短期大学）

この研究は、秘書の機能が新聞の求人広告でどのように表現されているか考察したものである。「語学力」「OA機器操作」「技能資格」「資質個性」の各項目を1980、91、92の年毎に集計しその推移を考察した。

2 「卒業生の職業意識について」

中川 昌代（道都大学短期大学部）

本研究は、勤務大学卒業生の就業状況と意識を調査し考察したものである。「職場の現状と働く意識」「職場の研修制度」他につき質問紙により調査した。調査結果を基に、秘書教育では総合的な判断能力の養成が重要であると指摘した。

3 研究協議

今後の研究活動の進め方につき協議した。（北崎 寛 記）



関東・東北ブロック



平成5年度は、「秘書研究・教育の基本と展開」を統一テーマに、前回から実施している二分会「秘書理論研究」・「秘書教育（関連分野を含む）研究」の設置のもとで、秘書教育の新しい展開を図るため活発な活動が行われた。

第17回研究会において森脇道子ブロックリーダーより、来る6月の全国大会（東京）に関する報告とあわせて各会員の協力の依頼があった。

研究会報告（第16回研究会）

平成5年2月27日（土）東京家政学院短期大学三番町キャンパスを会場に97名の会員が参加して開催された。

パネル・ディスカッション、研究発表に先立ち、株式会社エレガンス代表取締役社長棚澤青路氏から「社長から見た秘書」と題して講演をしていただいた。

〈パネル・ディスカッション〉

〔秘書理論研究〕日新製鋼株式会社の渡辺鞠子氏が「秘書機能を考える——実践の立場から——」と題して、前回（第15回）の山形女子短期大学大宮登氏の研究発表「秘書機能を考える」をふまえて補佐機能の問題性について、秘書機能の再検討を実践の立場からパネル・ディスカッションを行なった。

〈研究発表〉

〔秘書教育研究〕嘉悦女子短期大学の角幸子氏と城西大学女子短期大学部の平澤洋一氏が「情報機器を用いた秘書教育の効果——秘書CAIの実践を例に——」と題してCAIの導入とその効果について発表した。

研究会報告（第17回研究会）

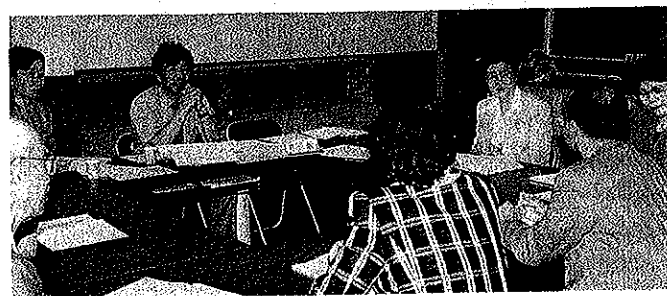
平成5年10月3日（土）東京スクール・オブ・ビジネス新宿アネックスに80名の会員が参加して開催された。

研究発表に先立ち、流通経済大学の鈴木博氏から「サービスについて考える——サービスの基本について——」と題して講演をしていただいた。

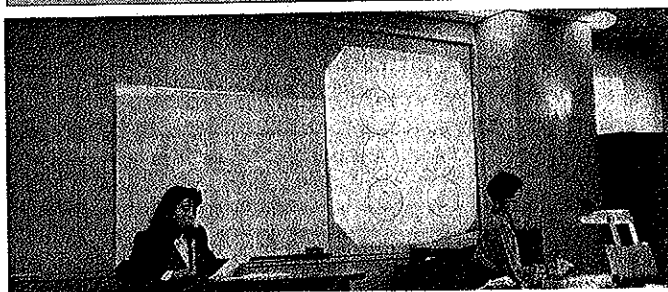
〈研究発表〉

〔秘書理論研究〕産能短期大学の亀崎恭尚氏が「秘書と創造性」と題して、秘書機能を今日・これからのビジネス界の变革・転換と睨みあわせながら理論的にとらえ発表した。

〔秘書教育研究〕創価女子短期大学の河口信子氏が「日本人としての言語表現と作法——よりよいコミュニケーターになるために——」と題してビジネス敬語のコミュニケーション手段としての役割をアンケート形式の実態調査を踏まえて発表した。（堀真由美 記）



中部（東海・北陸）ブロック



1) 「運営委員会」を平成6年1月23日（日）午後12時より開催し、運営委員改選、運営方針、会報などの案件について協議した。

2) 東海・北陸分会合同の「ブロック研究会」は、当日午後1時より名古屋女子文化短期大学で、33名の会員が参加して開催された。

リーダーの吉田寛治先生（金沢女子短期大学）が開催の挨拶をし、続いて運営委員の伊藤和子先生（市邨学園短期大学）、水野清子先生（名古屋女子大学短期大学部）、奥村真澄先生（仁愛女子短期大学）に代わり、柴山正先生（名古屋女子大学短期大学部）、戸田昭直先生（静岡県立情報処理センター）、中

野千鶴子先生（仁愛女子短期大学）の新運営委員の承認がなされた。長年にわたり運営委員を担当されてきた3名の先生方の労に謝意を表したい。

研究会は、二会場に分かれ、柴山正先生（名古屋女子大学短期大学部）、戸田昭直先生（静岡県情報処理センター）、佐々木怜子先生（愛知学泉女子短期大学）、河村真澄先生（岡崎女子短期大学）の司会によって、次の8つの発表がなされた。それぞれの発表要旨は、ブロックの『会報』を参照いただきたい。

①「楽しい授業のための工夫」

——秘書教育および秘書のキャリアアップを目指して——

河村真澄先生（岡崎女子短期大学）・権田恵子先生（高田短期大学）・佐々木怜子先生（愛知学泉女子短期大学）・水口美知子（名古屋女子文化短期大学）・大津洋子先生（愛知女子短期大学）・清水たま子先生（江南女子短期大学）

②「オフィス・スタディー」

織田善愷先生（長岡短期大学）

③「女性のキャリア開発と職場の活性化に関する一考察」

一柳達幸先生・水谷啓子先生（一宮女子短期大学）

④「秘書学における資格試験導入の意義」

今泉志弦子先生（愛知女子短期大学）

⑤「秘書教育における国語表現法の在り方——機知の活用」

平田祐子先生（近畿大学短期大学部）

⑥「秘書実務における交流分析の応用

——対話分析理論にもとづく接遇会話の授業展開例」

菱田洋子先生（北陸学院短期大学）・野口喜美代先生（富山コンピュータ専門学校）

⑦「秘書のパーソナリティーに関する一考察」

國田千恵子先生（金沢女子短期大学）

⑧「秘書イメージに関する調査研究」

——秘書職・非秘書職・学生の比較検討

中村健壽先生・内山伊知郎先生・加藤宏美先生（静岡県立大学短期大学部）

いずれも精緻な基礎的研究あるいはユニークな授業実践の展開など、さまざまな手法を駆使した積極的かつ斬新な内容の発表であった。各発表に対して今後の問題点の絞り込みや展開への示唆に富んだ鋭い活発な質疑応答がなされた。サブ・リーダーの島名正英先生（愛知女子短期大学）の挨拶で閉会した。

研究会終了後、会場を移して懇親会がもたれ、会員相互の情報交換や研究発表者との対話が続き有意義な時間となった。

なお、研究会に先立って希望者を対象として会場校・名古屋女子文化短期大学のキャンパスの見学会が行われた。落成後間もない超モダンで美しい学舎景観・施設の全ては、これ

からの学校の教育環境設計に刺激と夢を与えるものであった。（中村健壽 記）

3）「北陸分会研究会」は、平成5年7月24日（土）午後1時30分から5時まで、金沢市の都ホテルを会場に開かれた。参加者は12名。

研究発表は、國田千恵子先生（金沢女子短期大学）が「秘書のパーソナリティーに関する一考察」と題して、実態調査にもとづく学生の秘書意識の因子分析とYG性格検査との関連づけを内容とする、秘書教育実践の効果に関する客観的分析方法を問題提起した。発表に対して、調査の方法論に関する原理的問題から今後の課題まで活発な質疑応答が行われ、充実した研究会となった。

その後、研究会を第12回全国大会の反省会に切り替え、リーダーの吉田寛治先生（金沢女子短期大学）から運営の労をねぎらう言葉があり、事務局が会計とアンケート集計に関する報告を行い、出席者全員で確認、了承した。

（西川峰高 記）



近畿ブロック

第17回研究会

平成5年3月20日、39名の参加者をえて、なにわ会館で行いました。今回は、全国大会へのブロックからの提言があったので、グループ別討議に時間を多くとるため講演は行いませんでした。

個人研究発表では、梅花短大の有働寿恵先生が「アメリカの秘書教育——教育統計からの視点——」と題し、アメリカ政府教育局の統計資料とセントラル・テキサス・カレッジのカリキュラムを中心に発表されました。同じ梅花短大の笠原多恵子先生は「秘書実務の新しい教授法」と題し、シュミレーション・ワークブックを使用した経験をもとに、使用した具体例数種を付して発表されました。聖和大学短大部の黒田広美先生は、林雄太郎先生との共同研究で「衆議院の秘書機構と機能に関する一考察（第1報）」と題し、衆議院議長秘書、同副議長秘書、事務総長秘書などについて法令をもとに発表されました。元グンゼ秘書室長の田村欣二先生は「企業秘書の職務分掌に関する実証的研究」と題し、グンゼでの経験をもとに社内規定から秘書の職務分掌をぬき出し、更にそれ以外の職務を分析されました。聖和大学短大部（当時）の林雄

太郎先生は「秘書学の原点思考（Ⅰ）——企業経営の原点と秘書学」と題し、経営学の対象と視座、経営概念、管理概念からはじめて、秘書学の視座を検討し、その上で経営学・商学部の教育と秘書教育の比較といった大きな問題を扱われました。ティータイムの後、理論と実務・教育の両グループにわかれ、討議しました。理論グループでは、全国大会への提言を中心に討議しました。

第18回研究会

平成5年10月2日、45名の参加者をえて、なにわ会館で行いました。はじめは総会で、平成4年度の決算と活動報告が前ブロックリーダーの田中篤子先生からあり、了承されました。次いで福永新ブロックリーダーのあいさつがあり、田中先生の長年のご苦勞に感謝する意味で記念品の贈呈が行われました。講演にかわり、福永リーダーによる「プレゼンテーション・ディベートと秘書及び秘書教育」と題して、秘書学を活性化するために今注目をあびているプレゼンテーション・ディベートをとり入れられないかということで、プレゼンテーション及びディベートの概要の説明があり、それが秘書学、秘書教育の中でどう利用できるかについて問題提起しました。個人研究発表では、PL学園女子短大の足塚智志先生が「電子化に伴う社内文書の伝達メディアの一考察」と題し、OA機器の普及にともない社内文書がどう変化したか、それが秘書にどう影響するかについて考察されました。次いで関西女学院短大の仁平征次先生が「法令よりみた秘書（第2報）」

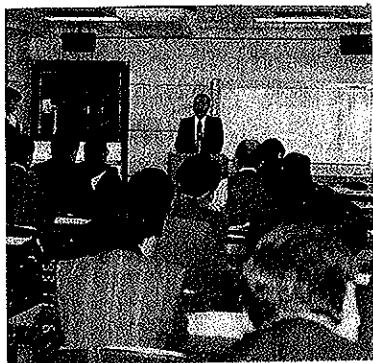
政策担当秘書、人事院規則7-0、首相特別補佐を中心に」と題し、6年1月1日執行の政策担当秘書、それと現内閣の首相特別補佐が法令上どう位置づけられているかが発表されました。最後に大阪キリスト教短大の林雄太郎先生と滋賀文化短大の村上典子先生の共同研究「秘書の経営理念の理解に関する一考察(第2報)」は、第16回研究会の続報で、松下電器におけるPHPの考え方と、秘書の経営理念の理解とその周知の方法、チェックリストなどくわしく発表していただきました。ティータイムをはさんで、グループ別研究会を行いました。福永リーダーの問題提起と来年の全国大会におけ

るブロックの提言が「能力開発」なので、それをふまえて2班に分かれて討議しました。悲しいニュースもありました。大阪成蹊女子短大元教授の小川寿一先生が3月、本ブロック運営委員の京都短大の荊木先生が10月におなくなりになりました。合掌

(福永弘之 記)



中国・四国ブロック



1. ブロックの運営動向

今年度より新しく開学された土佐女子短期大学の先生方もメンバーに加わって下さり、現在会員数は103名。第10回というひとつの節目であった研究会も無事終了し、変化の激しい社会状況の中

で、地域からの要請に充分応えられる秘書教育をめざし、さらに研究を深めていきたいと意気込んでいる。

2. 研究活動

第10回ブロック研究会は、平成5年11月6日(土)13:00~17:00、7日(日)9:30~12:00の両日、松山市のスカイホテルを会場として開催された。大学祭や入学試験等、行事が目白押しの時期であったにもかかわらず42名にものぼる参加者を得ることができた。

まず、ボストンでの1カ月間に亘る出張を終えて、帰国されたばかりのブロックリーダーの森貞俊二先生より開会の挨拶があり、引き続き研究発表に移った(発表順・敬称略)。

11月6日(土)13:00~17:00

第1セッション

(1) クロムウェル政権下の二人の秘書

——今後の秘書職と秘書教育への提言——

藤田雅子(広島女子商短期大学)

(2) 接遇態度の異文化間評価

川瀬啓子(安田女子短期大学)

(3) 『文書の結語』について

——草々と早々——

西川三恵子(土佐女子短期大学)

(4) コミュニケーション能力育成のためのネットワークを利用した秘書科情報教育の一事例研究

吉田行宏(安田女子短期大学)

第2セッション

(5) 事例研究：日立アメリカ社(HAL)

——秘書教育担当者海外研修報告——

堀 正久(四国大学)

(6) オフィスと学生の意識についてII

磯田圭子(安田女子短期大学)

(7) 秘書の存在理由

村上哲大(土佐女子短期大学)

(8) 秘書の異文化対応能力について

森 義直(香川県明善短期大学)

11月7日(日)9:35~11:20

(9) 『秘書実務』担当者の資質について

胡 義博(鈴峯女子短期大学)

磯部 恵(鈴峯女子短期大学)

(10) 職業意識形成に果たす実務教育の役割

——「シナジー」と「コーリング」をめぐる——

篠原 収(広島女学院大学)

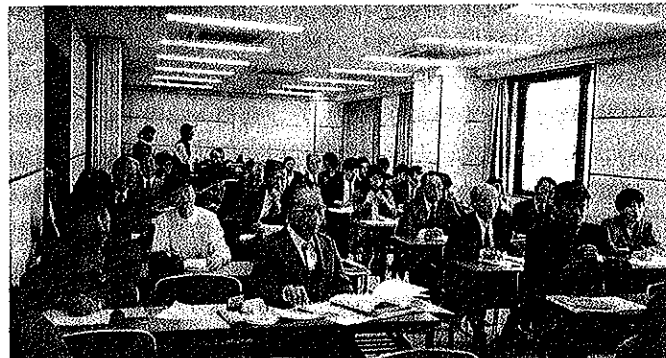
(11) 海外の秘書教育事情

森貞俊二(松山東雲短期大学)

渡辺和枝(松山東雲短期大学)

桐木陽子(松山東雲短期大学)

以上、秘書概念、秘書教育法、情報処理教育への提言や、従来の研究領域と他の学問との関連性を模索したもの等、幅広い分野からの研究発表が11件なされた。また、最後に「秘書学会と全国短期大学秘書教育協会の動向」と題して、森貞先生よりご報告があった。国際化、情報化が進展する中で、これまで日本が模範としてきたアメリカという大国が変容を遂げつつある。逆に、経済面でも破竹の勢いで躍進を続けているアジアの国々。現状をしっかりと認識し、社会にとり残されるような教育界であってはならないことを痛感させられた、大変意義深い研究会であった。ブロック研究会も固定化することなく、常に新しいものを受け入れることができるよう柔軟でありたいものである。(桐木陽子 記)



九州・沖縄ブロック



1. ブロックの運営動向

本年度の運営委員会において第12回全国大会(金沢市)へのブロックからの推薦者、および提言者の決定、第14回ブロック研究会の発表者、第15回研究会の場所、日時、発表者、第16回研究会の場所、日時等を決定し、またブロック会報の発行等を行った。

2. 研究会活動

— 第14回研究会 —

期 日：平成5年2月27日(土)

場 所：天神幸ビル(福岡市)

出席者：21名

田中友幸ブロックリーダーの挨拶、スケジュール説明の後、研究発表に移った。

北原康司先生(佐賀女子短期大学)の司会により「秘書学で用いられる概念について」というテーマで坂本一登先生(福岡女子短期大学)が、学問としての秘書学の確立が十分でないために、各論を論じる場合にその焦点が絞りきれないように思われるので、基本概念を十分吟味する必要がある、と発表を行った。

続いて杉原英夫先生(純真女子短期大学)の司会により「第10回アジア秘書会議に参加して」と題して藤村やよい先生(佐藤ビジネス専門学校)が、言語、宗教、民族が異なるアジアの秘書の現状から、日本だけでなく急速な経済成長などに伴い変化していくであろう世界の秘書の動向にも注目する必要がある、と提言した。

研究会最後の懇談会では、平成5年6月の第12回全国大会への「ブロックからの提言について」と題し、リーダーの司会により参加者からの提言を求めた。研究会終了後、福岡ガーデンパレスにおいて懇親会を開催し、参加者相互の親睦を深めた。

— 第15回研究会 —

期 日：平成5年10月9日(土)

場 所：長崎短期大学(佐世保市)

出席者：19名

長崎県での研究会は、以前の長崎市に続いて今回佐世保市にある長崎短期大学の川久保伸一先生の多大のご尽力により同校において開催することになった。田中リーダー、長崎短期大学の前田稔先生の挨拶の後、研究発表に移った。

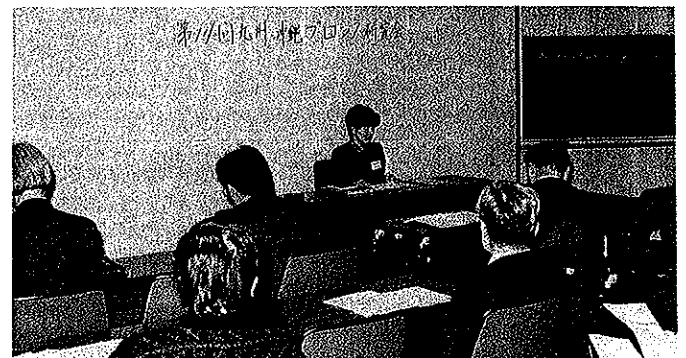
初めに光岡延幸先生(九州龍谷短期大学)の司会により木原すみ子先生(福岡女子短期大学)が「秘書教育における情報検索システムの活用について」と題し発表した。同校で実施されている学外実務実習において学生が実習先を選ぶ場合のコンピューター利用は、情報検索方法などについての理解力・応用力を育てる手段の一つである、と提言した。

茶室の見学・利用の後、続いて北原康司先生の司会により佐藤昭雄先生(近畿大学九州短期大学)が「ドイツの秘書教育について」というテーマの下に、ドイツの秘書事情さらにはドイツの秘書教育制度、継続教育としての秘書教育について発表した。

最後に室井廣一先生(東筑紫短期大学)の司会で井原伸允先生(香蘭女子短期大学)が「1日秘書実習」と題して発表を行った。企業での実習生の受け入れの経験から、学内における実習の場の提供のため、教員の研究室秘書勤務という学習形態についての5年間の実験結果についての研究報告があった。

研究会終了後、スクールバスにて米軍基地内のレストランに会場を移動し参加者相互の親睦を深めるために川久保伸一先生の司会進行によって懇親会が催された。学生部長前田稔先生もご参加になり、盛会のうちに無事全日程が終了した。

(坂本一登 記)



平成5年度ブロックリーダー・サブリーダーおよび運営委員

◎(リーダー) ○(サブリーダー)

【北海道】

◎白川 智洋(静修短期大学)
◎乳井 克憲(静修短期大学)
北丹 和寛(静修短期大学)
中松 昌代(道都大学短期大学部)
弘川 弘子(北海道女子短期大学)

【関東・東北】

◎森脇 道子(産能短期大学)
◎佐藤 啓子(常盤大学短期大学部)
◎堀江 光(城西大学女子短期大学部)
菅澤 まりえ(尚絅学院短期大学)
菅野 恒男(東京家政学院短期大学)
天大 登(山形女子短期大学)
風修 子(産能短期大学)
佐九男(東京工芸大学女子短期大学部)
高井 由喜雄(川口学園)

中佐 勇(十文字学園女子短期大学)
知藤 明(東京スクール・オブ・ビジネス)
藤 久(川口女子短期大学)
矢渡 子(千葉経済短期大学)
堀 子(津田スクール・オブ・ビジネス)
堀 一(産能短期大学)
堀 真由美(産能短期大学)

【中部(東海・北陸)】

◎吉田 寛治(金沢女子短期大学)
◎島田 正英(愛知女子短期大学)
中村 壽(静岡県立大学短期大学部)
河村 健登(岡崎女子短期大学)
佐々木 真子(愛知学泉女子短期大学)
木本 伶子(東邦学園短期大学)
清水 みどり(江南女子短期大学)
山本 正(名古屋女子大学短期大学部)
山田 昭直(静岡県立情報処理センター)
田口 美知子(名古屋女子文化短期大学)
口野 絹枝(富山経済専門学校)
北野 千鶴子(仁愛女子短期大学)
中 克輔(金城短期大学)

【近畿】

◎福永 弘真(兵庫県立姫路短期大学)
◎緒田 澄(平安女学院短期大学)
田中 子(松蔭女子学院短期大学)
都野 穂(園田学園女子短期大学)
武矢 智恵子(大阪医療技術学園)
野 智恵子(京都経営経済専門学校)

【中国・四国】

◎森 俊二(松山東雲短期大学)
◎岡 梨(川崎医療短期大学)
◎田 三(香川短期大学)
◎胡 博(鈴鹿女子短期大学)
篠 原 取(広島女学院大学)

【九州・沖縄】

◎田友 幸(福岡女子短期大学)
◎北原 可(佐賀女子短期大学)
坂 登(福岡女子短期大学)
坂 幸(九州龍谷短期大学)
光 一(東筑紫短期大学)
室 廣

【ブロック研究会での研究発表一覧】

【北海道】

「秘書理論研究の新課題」

阿久津昭夫 (静修短期大学)
手戸直美 (日本ビジネススクール札幌校)
佐々木邦子 (日本商工会議所付属専門学校)
浅川修二 (北海道栄養短期大学)
菊池真一 (北海学園北見短期大学)
中川昌代 (道都大学短期大学部)

「秘書学研究の基本的課題」

「現代企業が秘書に課す条件」

「卒業生の職業意識について」

【関東・東北】

「情報機器を用いた秘書教育の効果——秘書CAIの実践を例に——」

角幸子 (嘉悦女子短期大学)
平澤洋一 (城西大学女子短期大学部)
亀崎恭尚 (産能短期大学)
よりよいコミュニケーターになるために——
河口信子 (創価女子短期大学)

「秘書と創造性」

「日本人としての言語表現と作法」

【中部 (東海・北陸)】

「楽しい授業のための工夫——秘書教育および秘書のキャリアアップを目指して——」

河村真澄 (岡崎女子短期大学)
権田恵子 (高田短期大学)
佐々木怜子 (愛知学院女子短期大学)
水口美知子 (名古屋女子文化短期大学)
大津洋子 (愛知女子短期大学)
清水たま子 (江南女子短期大学)
織田善徳 (長岡短期大学)

「オフィス・スタディー」

「女性のキャリア開発と職場の活性化に関する一考察」

一柳達幸・水谷啓子 (一宮女子短期大学)

「秘書学における資格試験導入の意義」

今泉志弦子 (愛知女子短期大学)

「秘書教育における国語表現の在り方——機知の活用——」

平田祐子 (近畿大学短期大学部)

「秘書実務における交流分析の応用——対話分析理論にもとづく接遇会話の授業展開例——」

菱田洋子 (北陸学院短期大学)

野口喜美代 (富山コンピュタ専門学校)

「秘書のパーソナリティーに関する一考察」

國田千恵子 (金沢女子短期大学)

「秘書イメージに関する調査研究——秘書職・非秘書職・学生の比較検討——」

中村健壽・内山伊知郎・加藤宏美 (静岡県立大学短期大学部)

【近畿】

「アメリカの秘書教育——教育統計からの視点——」

有働寿恵 (梅花短期大学)

「秘書実務の新しい教授法」

笠原多恵子 (梅花短期大学)

「衆議院の秘書機構と機能に関する一考察 (第1報)」

黒田広美・林雄太郎 (聖和大学短期大学部)

「企業秘書の職務分掌に関する実証的研究」

田村欣二 (元グンゼ)

「秘書学の原点思考(1)——企業経営の原点と秘書学——」

林雄太郎 (聖和大学短期大学部)

「電子化に伴う社内文書の伝達メディアの一考察」

足塚智志 (PL学園女子短期大学)

「法令よりみた秘書(第2報)——政策担当秘書、人事院規則7-0、首相特別補佐を中心に——」

仁平征次 (関西学院短期大学)

「秘書の経営理念の理解に関する一考察 (第2報)」

林雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)

村上典子 (滋賀文化短期大学)

【中国・四国】

「クロムウェル政権下の二人の秘書——今後の秘書職と秘書教育への提言——」

藤田雅子 (広島女子短期大学)

「接遇態度の異文化間評価」

川瀬啓子 (安田女子短期大学)

「文書の結語」について——草々と早々——

西川三恵子 (土佐女子短期大学)

「コミュニケーション能力育成のためのネットワークを利用した秘書情報教育の一事例研究」

吉田行宏 (安田女子短期大学)

「事例研究：日立アメリカ社(HAL)——秘書教育担当者海外研修報告——」

堀正久 (四国大学)

「オフィスと学生の意識についてII」

磯田圭子 (安田女子短期大学)

「秘書の存在理由」

村上哲大 (土佐女子短期大学)

「秘書の異文化対応能力について」

森義直 (香川県立香川短期大学)

「秘書実務」担当者の資質について」

胡義博・磯部恵 (鈴峯女子短期大学)

「職業意識形成に果たす実務教育の役割——“シナジー”と“コーリング”をめぐって——」

篠原収 (広島女学院大学)

「海外の秘書教育事情」

森貞俊・渡辺和枝・桐木陽子 (松山東雲短期大学)

【九州・沖縄】

「秘書学で用いられる概念について」

坂本一登 (福岡女子短期大学)

「第10回アジア秘書会議に参加して」

藤村やよい (福岡ビジネス専門学校)

「秘書教育における情報検索システムの活用について」

木原すみ子 (福岡女子短期大学)

「ドイツの秘書教育について」

佐藤昭雄 (近畿大学九州短期大学)

「1日秘書実習」

井原伸允 (香蘭女子短期大学)

平成5年度入退会会員 (平成6年2月28日現在)

【新入会員(正会員)】

進石幸子 (嘉悦女子短期大学)
野坂裕子 (甲子園短期大学)
土谷善宣 (東京学芸大学)
町野吉南 (山陽女子短期大学)
磯部恵子 (鈴峯女子短期大学)
桑本いづみ (東邦学園短期大学)
安石杏生 (JAL コーディネーションサービステク)
奥村真子 (聖徳大学短期大学部)
田中雅子 (京都VICA国際専門学校)
亀崎恭尚 (産能短期大学)
柳崎あや子 (神戸文化短期大学)
池井裕子 (広島文教女子大学短期大学部)
吉見美智 (梅田ビジネス専門学校)
吉野一朗 (横浜外語ビジネスアカデミー)
原口正行 (厚木外語ビジネスアカデミー)
青木雅幸 (厚木外語ビジネスアカデミー)
西野均 (鹿島学園女子短期大学)
坂本清明 (ひめじコンピュータアカデミー)
田口智子 (東海産業短期大学)
柴田光子 (札幌お茶の水医療秘書学科助手専門学校)
相田佳子 (国学院短期大学)
野田知文 (NITフレイミング研究所)
田中貴美代 (桜井女子短期大学)
中嶋志子 (大阪豊能短期大学)
永井孝男 (浜松短期大学)
北山健 (K.E.S.)
本庄哲郎 (賢明女子学院短期大学)
三木大史 (賢明女子学院短期大学)
長瀬修子 (賢明女子学院短期大学)
小野和子 (お茶の水スクールオブビジネス)

総務明美 (お茶の水スクールオブビジネス)

金主郁子 (CMCコミュニケーションマネジメントセンター)

【新入会員(研究会員)】

宮田篤 (青森中央短期大学)
坂東洋三 (北治山女子短期大学)
土井真理

【退会会員(個人会員)】

山口尚夫 (大阪キリスト教短期大学)
水谷内保也 (富山大学)
菊池正巳 (秋葉学園)
河崎美佐子 (天理大学)
平島成夫 (高松短期大学)
前木淳巴 (京都短期大学)
光本吉伯 (山陽女子短期大学)
松原満寿秋 (桜美林短期大学)
澤田達次郎 (東邦学園短期大学)
森久美子 (早稲田速記秘書専門学校)
佐々木龍 (シオン短期大学)
B. Sussier (同志社女子大学短期大学部)
工藤トキ (東京大泉ウィークス)
岡田啓 (聖カタリナ女子短期大学)
加藤秀子 (国際教育振興会日本会議学院)
中津川行人 (大阪短期大学)
安川恭子 (共立眼鏡学院)

【退会会員(賛助会員)】

日本ビジネス総合専門学校
トライアント・スクール・オブ・ランゲージ
シオン短期大学
京都経営経理専門学校
東京経済大学